様式第五号（第１３条関係）

滞在援助金支給申請書

内閣総理大臣　殿

下記のとおり、北朝鮮当局によって拉致された被害者等の支援に関する法律による滞在援助金を申請します。

平成　　年　　月　　日

申請者代表
氏　　名　　印
（自署又は記名押印願います。）

フリガナ 氏　　名		性別	
生年月日	年　　月　　日		
住　　所	〒　　－ 電話番号		
添付書類	住民票(同居世帯員が記載されているもの) 市町村民税課税証明書（必要に応じて所得の内訳が分かる書類）		

上記申請者と同一世帯に属する者で支給の決定を受けようとする者（注１）

フリガナ		申請者との続柄	性別	生年月日
氏　　名				
フリガナ		申請者との続柄	性別	生年月日
氏　　名				
フリガナ		申請者との続柄	性別	生年月日
氏　　名				
フリガナ		申請者との続柄	性別	生年月日
氏　　名				
フリガナ		申請者との続柄	性別	生年月日
氏　　名				

その他上記申請者と同一世帯に属する者で、上記支給の決定を受けようとする者が扶養する者（注２）				
フリガナ		申請者との続柄	性別	生年月日
氏　　名				
フリガナ		申請者との続柄	性別	生年月日
氏　　名				

備考　用紙は、日本工業規格Ａ４とする。

（注１）「上記申請者と同一世帯に属する者で支給の決定を受けようとする者」には、被害者とその配偶者、子、孫を記載して下さい。

（注２）「その他上記申請者と同一世帯に属する者で、上記支給の決定を受けようとする者が扶養する者」には、滞在援助金の扶養加算の支給対象範囲となる支給の決定を受けようとする者によって扶養されている、帰国した被害者の子の配偶者、被害者の両親、帰国した被害者の配偶者の両親を記載して下さい。